



旭丘小だより

練馬区立旭丘小学校
学校だより 11月号
令和5年10月31日発行

運動会の感想から

校長 酒川 敬史

早いもので運動会から一か月がたちました。現在子供たちは次の大型行事である音楽会の練習に懸命に取り組んでいます。

運動会後はアンケートにご協力いただきました。ありがとうございました。概ね学校の取組にご理解をいただき、当日の子供たちの頑張りに肯定的なご意見をいただけたものと感じております。一方でコロナ禍以前並みの演目数の運動会の実施を望むお声と、今回のような午前中に収める現代型運動会の実施がよいというお声が拮抗している印象がありました。やはり感じ方は人それぞれにあるのだなということを改めて知ったところです。従来型を望まれる方々は、演目数の少なさから感じる物足りなさを、現代型を望まれる方々は、長時間の場合の暑さ対策や小さなお子さんが家族にいる場合の看護の問題などを理由とされていました。

「せめてリレーを」との声も多数見られました。学校では、リレーこそ多くの練習時間を要すること、代表リレーともなると給食準備中や放課後の練習も必要になることなどと今年度の施設環境を踏まえ、何度も協議を重ねた結果やむなく削除するに至ったのですが、説明不足を反省しました。難しいですね。

どのような方々にもそれぞれの思いや事情があるものと承知していますが、学校としては、まずは安全と、学校行事を通した子供たちの学び・成長・満足を最優先にしていこうと変わりはありません。そのうえで、観覧にいらっしゃる様々な方々の期待にこたえる努力をしていきたいと考えます。

12月には東側校庭が使えなくなり、いよいよ残すは西側校庭のみとなります。このような状況がしばらく続く中で、子供たちの体力の維持は？そして来年度の運動会は？また今年度並みの酷暑が続いたら？・・・と悩みは尽きません。高学年にならやらせられるが、低学年にはやらせられないといった事柄もあります。今後も皆様のご意見を真摯に受け止めながら、万障ある中で「できること」を必死に模索していきたいと思えます。そのための保護者・地域の皆様とのコミュニケーションもこれまで以上に必要だと思うところです。

音楽会に向けては2週間を切りました。残りの練習時間が日に日に少なくなっていく中で子供たちも教員たちもよい意味でヒリヒリとした緊張感のある時間を過ごしています。まずは、11月11日に心一つに演奏し、音楽を楽しむ子供たちの姿をお見せできればと思います。

あさひ学級

今年度は児童数16名の2学級となり、新しい仲間と先生を迎え、元気いっぱいのスタートとなりました。昨年度は実施できなかった様々な活動を再開することができ、子供たちも毎日充実した生活を送っています。

10月12日（木）から14日（土）までの2泊3日で、あさひ学級の1～6年生は軽井沢宿泊学習に行ってきました。多くの子が初めて家族と離れて行う宿泊行事でした。不安な様子も見られましたが、事前学習を重ね、見通しをもつことで、安心して参加ができたようです。「碓氷峠鉄道文化むら」や「群馬サファリパーク」、「佐久市子ども未来館」、「松井農園」でのりんご狩りなど、楽しみながら見学や体験を行うことができました。宿泊学習を通して、子供たち同士の関わり合いも増え、協力して取り組むことの大切さを実感できたようです。この経験を今後の学校生活でも生かしていきたいと思います。



11月の予定

1	水	特別時程4時間授業 就学時健診
2	木	学級長縄記録会(中休み)長縄月間終
3	金	文化の日
4	土	
5	日	
6	月	委員会活動
7	火	あいさつ運動
8	水	あいさつ運動
9	木	あいさつ運動
10	金	音楽会(児童鑑賞日)
11	土	音楽会(保護者鑑賞日)
12	日	
13	月	振替休業日
14	火	
15	水	なかよし班活動(中休み)  ダスキン教室⑥
16	木	



17	金	避難訓練 あさひ2年交流
18	土	土曜授業日
19	日	
20	月	クラブ活動
21	火	
22	水	きこえ4年生との交流会
23	木	勤労感謝の日
24	金	あさひ5年交流
25	土	
26	日	
27	月	クラブ活動
28	火	
29	水	特別時程4時間授業 教育会全体研究会
30	木	



<音楽会>

音楽会に向けて子供たちは一生懸命練習に取り組んでいます。楽器を持ち帰って家で練習したり、休みに教室や音楽室で練習したりする子もいます。

楽譜通り演奏できるようになるためには、旋律のまとまりを意識した効率的な指や手首の使い方を知り、反復練習することが必要です。できないことでイライラすることも多くあります。その中でも子供たちが諦めずに取り組むのは、たくさんの方の協力があるからです。音楽の授業では、担任や支援員の先生だけでなく、日大芸術学部の学生のみなさんにも授業支援に入っていただき、連携して個別指導やパート指導を行いました。えご花教室でも個別の練習を行ってきました。また、ご家庭での協力がとても大きな力となりました。これらの指導や支援で、個別の目標を設定し、努力したことへの励ましや、できたことを認めていくことが、子供たちの頑張りにつながっているのだと感じています。

「できる」ことが「楽しさ」になり、みんなで呼吸を合わせ、音色や縦(拍)を揃えていくことで感じる一体感が、「表現する喜び」につながります。音楽会当日の演奏だけではなく、そこに至るまでのお子様の頑張りをお認めてあげてください。

<図書室より>

読書の秋です。学校図書館管理員の鈴木文彦先生に、小学生のころに読んでいた本を伺いました。お子さんと一緒に読んでみてはいかがでしょうか？



図書館管理員が小学生のころに読んでいた本

「かいぞくポケット なぞのたから島」

寺村 輝夫作 913 だ

「ポケット ケポット トッポット」

みんなはこのじゅもんをうまく言えるかな？

「黒ねこサンゴロウ 1 旅のはじまり」

竹下 文子作 913 だ 1

電車でとなりに座ったのは黒猫！?

ケンとサンゴロウは失われたうみねこ族の宝をみつかる旅にでる！